

ちくさん スナップショット

株式会社富士飼料

平成 25 年 7 月

第 26 号

価格改定の背景

平成 25 年 7-9 月期の配合飼料供給価格について、飼料情勢・外国為替情勢等を踏まえ、前期に対し、値上げとなりました。

【飼料穀物】3 月末の米国農務省が発表した旧穀の在庫数量が予想よりも増加したことを受けて価格下落。その後新穀の作付深度が遅れた事から上昇し、現在は 660¢ /ブッシェル前後で推移しています。

【大豆粕】東南アジア諸国の食肉消費の拡大等で需要が高まっており、現在は 500\$/t 前後の水準。今後値上がりが見込まれます。

【海上運賃】現在は 43\$/t 前後で推移。

【外国為替】3 月上旬 93 円台、4 月には一時 100 円超の水準。現在は急速な円安に対する警戒感から調整局面となり、98 円台。

★以上から、為替の円安に対して、シカゴ定期が下落している為穀類価格に大きな変動はないが、大豆粕等の価格が大幅に値上がりする事から、値上げとなりました。

(南東北担当：二瓶洋一)

(全農 HP：6/21 リリースより引用)

輸入粗飼料情勢

(その 1) 梅雨に入り、2 番草の刈取も始まりましたが、まとまった雨もなく牧草の生育も良くないと言う声も聞いております。現在、端境期のカナダ産チモシーですが、ドライランド（中央アルバータ）では、5 月下旬にまとまった降雨があり、生育は順調との事です。天候次第ですが、収穫は 7 月下旬から始まると見込まれています。

オースト産オーツヘイについては、キャノーラ（菜種）の相場価格が高値で推移していることから、13 年産オーツヘイの作付面積は大きく減少することが早くも予想されています。

(宮城県北「養牛」担当：
松浦卓也)

共進会情報

平成 25 年 7 月 10 日(水)に仙台中央食肉卸売市場で食肉市場業務開始 38 周年記念枝肉共進会が開催されます。

当日は和牛 200 頭、F150 頭、肉豚 400 頭が上場予定になっています。

(宮城県北「養牛」担当：
斎藤勉)

輸入粗飼料（その 2）アルファルファ

＜ワシントン産＞ コロンビアベースンでは 13 年産の 1 番刈の収穫が始まっていますが、残念ながら南部では雨当たり被害が多く発生しています。現時点でも収穫は進んでいますが、天候のタイミングを見計らって収穫されるスタックも雨当たり品となることや、生育が進んで刈遅れ品となること懸念されています。

＜オレゴン産＞ 13 年産の生育は順調な模様です。クラマス、クリスマスともに、例年よりも 1-2 週間ほど早く、まもなく収穫が始まると見込まれています。

＜カリフォルニア産＞ インペリアルバレーでは、13 年産の 3 番刈の収穫が始まっています。産地価格は昨年に比べてやや軟化して推移していますが、UAE や中国向けが様子をみながら買付けを始めている模様です。

北カリフォルニアでは、13 年産の 2 番刈の収穫が始まっています。1 番刈は、一部で雨当たり被害が発生しましたが、被害は 10%以下と予想されています。

(宮城県南担当：佐藤研治)